事業所名　グローアップスタディ

支援プログラム

作成日　令和8 年 3 月 31 日

法人（事業所）理念	子どもたちが楽しく、充実した学校生活や豊かな時間を過ごせる環境を提供します。 小さな成功体験（スモールステップ）を積み重ね、やる気や自尊心を高めることにより、輝きのある人生を過ごすための支援・療育を行います。
支援方針	発達に不安があるお子さま、障がいのあるお子さまが学習や生活能力向上のための訓練を行いながら、自立するお手伝いをし、安心して過ごせる時間を提供します。 一人ひとりが将来自立し、その子たちの長所を活かして就労して、社会貢献できるよう成長する支援を行います。 人間の究極の幸せである「愛されること」「ほめられること」「人の役に立つこと」「人に必要とされること」は、働くことにより「愛」以外の3つの幸せは得られます。 「その愛も一生懸命働くことによって得られるものだと思う」（日本理化学工業　大山泰弘会長） 本事業所では、将来自立して働けるようになることを目標に、様々なプログラムや活動を通じて一人ひとりの成長を支援していきます

営業時間	平日	10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり
	学休日	9	時	0	分から	18	時	0	分まで		

		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	・挨拶、衣類の着脱、手洗い、荷物の整理や管理、体調管理、身だしなみを整える等、生活に必要な項目について、自ら行えるようサポートします。 ・学習や活動、休憩等、時間を意識して行動できるよう見守りや声掛けを行います。 ・クッキングやおやつの提供を通じて、作ること、食べることの楽しさや大切さを感じてもらえるよう支援します。
	運動・感覚	・一定時間、着座する習慣を身に付けることにより、考えや気持ちを落ち着けることができるよう支援します。 ・正しい姿勢で学習することにより、体幹の形成を図ります。 ・プログラミングや動画制作等、パソコンやタブレットを使うことにより、目と手指の協応や指先の巧緻性を養います。 ・外遊び（公園等）にて体を動かすことにより、自分の体をコントールする力やバランス感覚を身に付けます。 ・小麦粘土やスライム作り等、感触に特徴のある素材に触れ、楽しみながら活動することで感覚過敏の軽減を図ります。
	認知・行動	・プリントやパソコンを使った学習にて、数感覚、計算能力、記憶力、ワーキングメモリを養います。 ・間違いを受け入れる力、修正する力の発達を支援し、問題解決能力を育成します。 ・時間やタイマーを使って学習することにより、時間の感覚を身に付け、次の活動に移行できるよう支援します。 ・1日のスケジュールを掲示することにより、学習や活動、帰りの準備等、自ら行動できるよう見守りや声掛けを行います。 ・学習や活動等、それぞれの場面によって、自ら気持ちを切り替えられるようサポートします。 ・知育アプリ等を利用し、空間認識能力の発達支援、ビジョントレーニングを行います。 ・特性に応じた学習へのアプローチを考え、支援を行います。
	言語 コミュニケーション	・特性によってツール（パソコン、タブレット等のICT機器を含む）等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援します。 ・学習に関する指導員とのやり取りを通じ、自分の気持ちや状況を相手に伝える、相手の話（説明）を聞く力を身に付けていきます。 ・語彙力、読解力、音読力の学習に伴い、言語理解力を養います。 ・指導員からの説明やアドバイスを通し、指示を理解する力を深めます。 ・学習や各種活動において自発的に質問する力を身に付け、わからないことや困りごとを自分から発信できるよう支援します
	人間関係 社会性	・基本的な信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感、信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行います。 ・来所時や学習開始、終了、休憩時間等の際、指導員への挨拶や報告をすることにより、挨拶や報連相を身に付けていきます。 ・学習や各種活動を通じて、自分のできることや苦手なことなど、自分の行動の特徴を理解し、自己を肯定的に捉えらえるよう、また気持ちや衝動を調整し、状況に応じた行動ができるよう支援します。 ・制作活動や集団活動（チーム対抗ゲーム等）を設け、手順やルールの理解、協調性とチームワークを育みます。 ・帰りの会での1日の活動内容の発表、自己紹介、イベントでの司会進行役等の役割を設け、友達との関わり方を支援します。

家族支援	・安心して子育てに関する悩みごとや困りごとを家族から相談してもらえるよう　保護者との信頼関係を築きます。 ・アプリ、メール等のオンライン相談、施設での対面相談等、複数の相談窓口を設け、保護者がいつでも相談できる環境を提供します。 ・定期的な面談（最低年2回以上）を行い、保護者や兄弟児の心のケアをサポートします。	移行支援	・関係各所（保育園、幼稚園、学校、相談室等）と支援方針や支援内容を共有し、移行後も継続した支援を行います。 ・学校選びや入学試験（学力や面接等）の対策を行い、進学や就職のサポートを行います。 ・将来自立し充実した生活を送れるように、金銭管理や余暇活動の機会を設け、基本的なスキルを育みます。
地域支援・地域連携	・図書館、公園、その他施設等の公共施設を利用し、地域資源を活用します。 ・関係各所（保育園、幼稚園、学校、相談室、他の障害児通所施設等）との情報共有を行い、必要な際は検討会議等を開催します。 ・虐待が疑われる場合には、児童相談所等との情報連携を行います。	職員の質の向上	・事業所内研修、社内研修を実施しています。 ・外部研修、勉強会へ積極的に参加し、最新の知識と実践的なスキルを学んでいます。 ・資格取得のための費用を会社が提供し、職員の専門性を高めます。
主な行事等	・公園等でのスポーツ、水遊び、雪遊び ・図書館、科学館や博物館等の戸外活動 ・公共交通機関を利用しての外出 ・季節行事（お正月、節分、ひな祭り、卒業式、入学式、こどもの日、夏祭り、ハロウィン、クリスマス等） ・民間企業での職業体験 ・公共機関の見学		